

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		雪寒対策協議会事務事業			事業コード	0700
担当課等	所属名	建設部 道路管理課		担当係名		
	課長名	建設部 道路管理課	担当者名	建設部 道路管理課 浅沼 勉	電話番号	2773

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	公共交通機関の利便性向上と利用促進	コード 2	関連予算費目名	一般会計 8款 2項 1目 雪寒対策協議会事務事業 (001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成6年度～)		
事務事業の概要	雪と寒さに強い地域づくりを推進するため、(社)雪センターに加入している市町村が会員となり、雪に関する施策・技術についての情報収集や克雪、利雪等研究会の開催を行うほか、雪災害、凍上災害に対する国等への要望活動の実施。					
根拠法令等	積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
地域の特性や社会情勢の変化に対応した雪対策を推進する目的で(社)雪センターに加入している市町村で、平成6年11月に協議会を組織し、(社)雪センターからの補助金を受けて事業活動が行われた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
会員の拡大と事業充実が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
会員相互の地域における降雪量や凍結にばらつきがあり、会の必要性や財政的な面から退会、休会が生じている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	協議会の会員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市町村数	単位	団体
				B.	単位	14団体
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 事務局を所管し、総会事務・事業(要望・研修等)の執行をした。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 加入促進	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 各加入協議会開催数	単位	1回
				B. 総会、研究・講習会開催	単位	2回
				C. 各種要望活動	単位	2回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	事業執行を通じ、国の施策、技術について情報交換及び広報等を行い、雪対策や制度の改善等の要望活動を推進する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参加率=総会参加自治体数+研究会参加自治体数/県内加入自治体数×延べ2回 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. 事業出席が役に立ったと思う率=事業出席が役に立ったと思う出席会員数/出席会員数/加入自治体会員数 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	公共交通(バス・電車・タクシー)の利便性が向上し、利用が促進される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	1日当たりバス利用者数(単位:人) 1日当たり鉄道利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市町村数	団体	16	15	14	14	10	10	年度
対象 指標B		14団体							年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	各加入協議会開催数	1回	4	4	4	4	4	4	年度
活動 指標B	総会、研究・講習会開催	2回	2	2	2	2	2	2	年度
活動 指標C	各種要望活動	2回	1	1	1	1	2	2	年度
成果 指標A	参加率＝総会参加自治体数＋研究会参加自治体数／県内 加入自治体数×延べ2回	%	46	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B	事業出席が役に立ったと思う率＝事業出席が役に立ったと思 う出席会員数／出席会員数／加入自治体会員数	%	56	100	100	100	100	100	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	98	98	127	100	100	100	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	98	98	127	100	100	100	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	98	98	127	100	100	100	*****
	延べ業務時間数	時間	170	170	170	170	170	170	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	680	680	680	680	680	680	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	778	778	807	780	780	780	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:積雪・寒冷な地域にあつては、冬期間の安全な生活を維持するための施策が必要であり、その実現に寄与するための組織である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:市道は市が管理しており、市民の安全な通行を確保するための、施策等の向上のため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:会員が減少しており、拡大に努めることとしている。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:現在の事業の継続が必要である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由:会員数の減少や国・地方とも財政的に厳しいことから、現状維持が精一杯である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:市民の要望も多様化していることから、要望に対応できる施策の取り組みが必要である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:全額雪センターからの補助金で運営しており、額も定額となっている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:時間外の縮減に鋭意努めている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 会員の拡大に努める。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 当該団体の事業内容の説明及び効果等の普及に努め、特に降雪量の多い市町村への加入促進に努める。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) ・(社)雪センターに加入する県内の市町村が雪と寒さに強い地域づくりを目指すため、雪に関する国の施策、技術についての情報交換を行い、地域の特性や社会情勢の変化に対応した雪対策を支援するため必要な事務事業である。 ・平成22年度は、例年同様に総会及び研究会を開催した。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 一次評価の四項目全てが妥当であり、現状維持とする。		